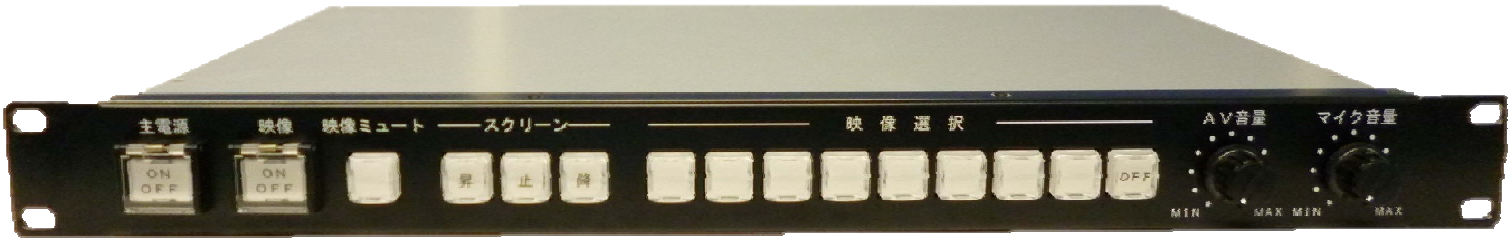
コントロールパネル

取扱説明書

品番 TCP-1000



このたびは、コントロールパネルをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございました。

■本機は対応メーカのスイッチャー・プロジェクタ・ディスプレイ
のコントロールにご使用いただけます。

■この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡又は重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない

禁　止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●直ちに販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常・故障時には直ちに使用を中止する

煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電・故障の原因となります。

●直ちに電源プラグを抜き、販売店に依頼してください。

不安定な場所に置かない

禁　止

落下などでけがの原因となります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない

禁　止

感電の原因となります。

電源プラグは、必ずプラグ本体を持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

●抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源プラグを破損するようなことはしない

禁 止

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

痛んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

●ACアダプターや電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁 止

たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。
本機は日本国内での電源のみ対応です。

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグ・ACアダプターに触れない

禁 止

火災・感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し故障の原因になります。

付属の電源ケーブルやACアダプター以外は使用しない

禁 止

付属の電源コード・ACアダプター以外の使用は故障・火災の原因になることがあります。また、付属品は本機以外で使用しないでください。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

禁 止

火災・感電の原意になることがあります。また、油により樹脂が劣化し故障の原因になります。

⚠注意

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

設定を変更の際は、設定を確実にするため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

設定が有効にならない場合があります。

本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない

禁 止

バランスが崩れて倒れたり、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。

目次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1、2
目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
取り扱い上の留意点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
フロントパネル説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
リアパネル説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
リアパネル端子説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8、9
設置について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
銘板変更について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11、12
初期設定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13～18
ファーム更新方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19、20
設定一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
外観・仕様・付属品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
保証とアフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・ 24

バージョン	改 定 履 歴	改 定 日
	初版	2015年6月24日
Ver1.00	2版（設定項目追加）	2015年8月24日

特長

◆システム運用に必要な操作を1箇所に集約。

◆操作ボタンは照光式スイッチで、直感的に操作が可能です。

◆主電源・映像電源のスイッチ誤操作防止用カバー標準装備。

◆制御ソフト搭載済みでソフト開発不要です。

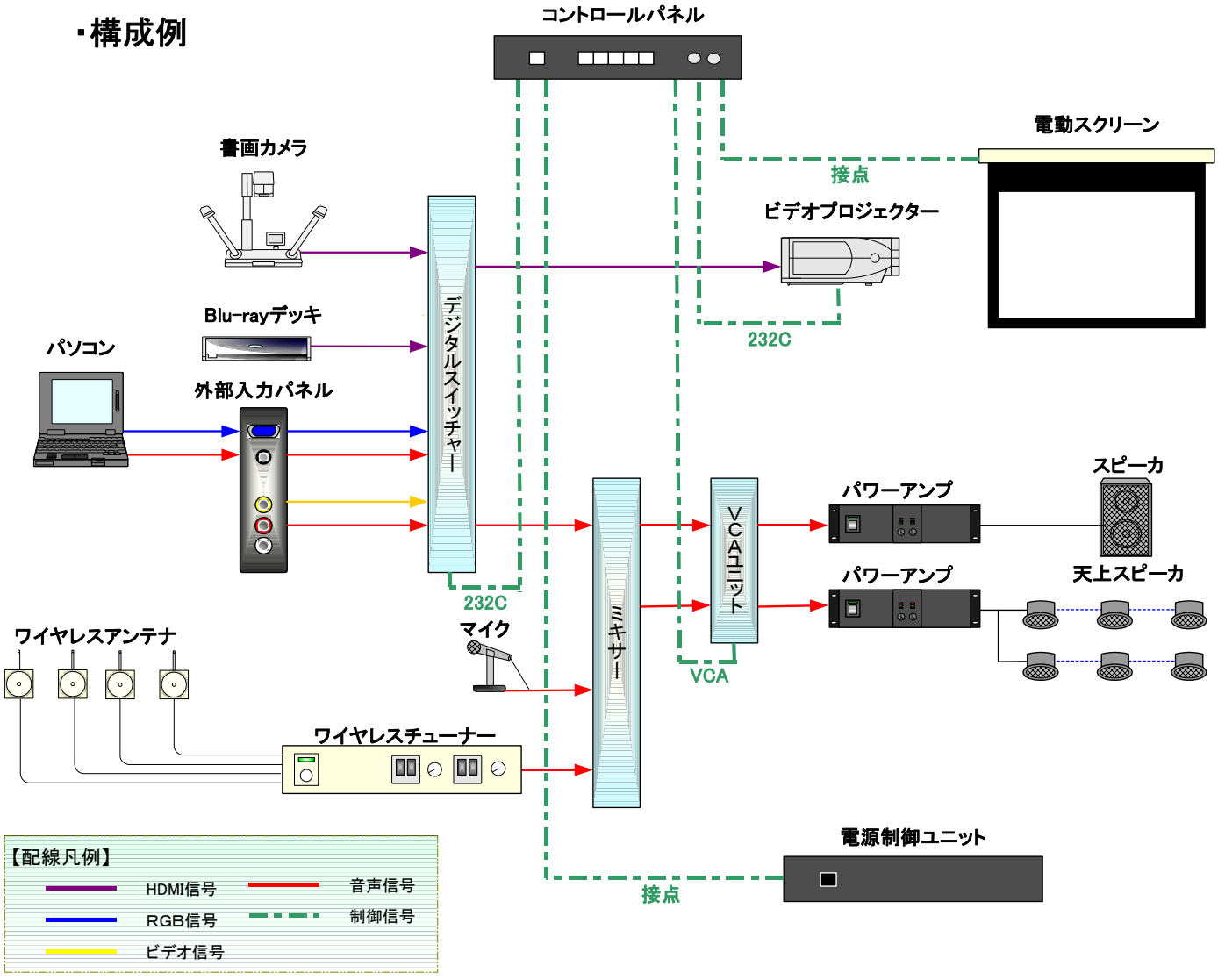
◆スイッチャー・プロジェクタ・ディスプレイ機種の変更等も設定変更で可能です。

◆VCAは弊社TVAシリーズを制御可能です。他社製品接続の場合は変換コネクタで可能です。

◆ACアダプター用クランプでアダプターのプラグの抜けを防止することができます。

◆1Uラックマウントタイプで小型、省スペース。

・構成例



※本製品はコントロールパネルのみです、
AV機器や配線・ケーブル類は含まれません。

取り扱いの留意点

◆ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読み頂き、正しく設置してください。

◆本機が対応している機器以外のものを接続しないでください。

本機、又は接続機器の故障原因となります。

◆本機の設置場所について

本機の設置場所は、直射日光のあたる場所は避けてください。

また湿気、ほこり及び振動の多い場所に設置すると故障の原因になることがあります。

落下防止のため、本機前面のラックマウント金具4点をラックにしっかり固定して使用してください。

ACアダプター抜け防止のために付属のクランプをご使用ください。

ACアダプターや本機に接続する機器は確実に接続してください。

◆ACアダプターについて

ACアダプターは付属のACアダプターをご使用ください。それ以外は故障の原因となります。

抜き差しする場合はケーブルは持たず、プラグを持って抜き差ししてください。

◆電源について

本機は日本国内での使用で設計されています。

国外での使用しないでください。

ACアダプターを異なる電源（AC100V　50Hz/60Hz以外）で使用しないでください。

◆本機の設定において

本機の設定中は電源非通電（ACアダプターを抜たり電源をOFF）しないでください。

本機故障の原因となります。

◆ファームアップについて

ファームアップは専用端子・専用ソフトで行ってください。また、設定途中での通信切断・電源非通電は本機の故障となります。

◆使用方法

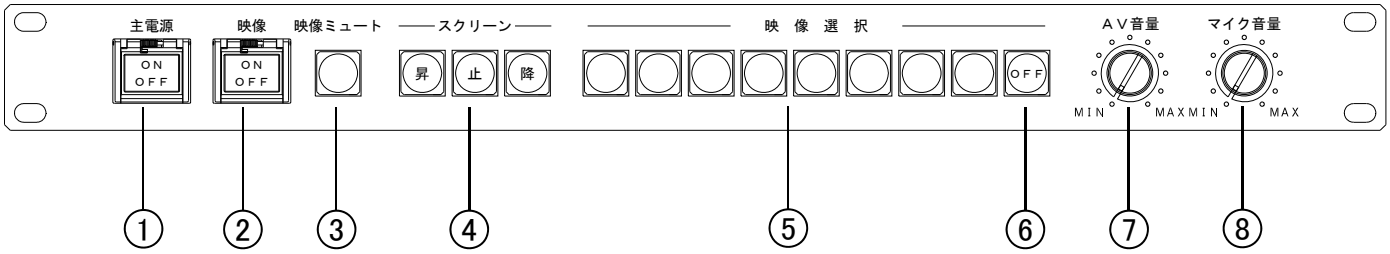
本機を運用中にむやみに電源非通電（ACアダプターを抜たり電源をOFF）にしないでください。

照光式スイッチや筐体・部品が破損するような使用方法はしないでください。

◆プロジェクタ本体・スイッチャ本体・ディスプレイ本体の異常（ランプ・FAN・温度異常等）が発生した場合、異常を取り除いて頂いた後、本機電源の再起動が必要となります。

◆スイッチャーを同じメーカでも変更・交換した場合は、スイッチャー設定を再設定してください。

フロントパネル説明



①主電源スイッチ

ON時、リアパネルの「R1」接点出力ON 、「映像ON／OFF」・「映像選択」スイッチ操作可能。
ON時は「主電源」ランプ点灯、終了時は消灯、起動中・終了中は点滅します。

②映像電源スイッチ

ON時、リアパネルの「R2」「R3」接点出力ON 、設定しているプロジェクタ・ディスプレイに対し電源ONコマンドを送信します。
プロジェクタの起動時は「映像ON／OFF」点灯、終了時は消灯、起動中・終了中は点滅します。
プロジェクタが繋がっていない等エラーの場合、「映像ON／OFF」早い点滅になります。
（0．2秒間隔）

③映像ミュートスイッチ

設定しているプロジェクタ・ディスプレイに対し映像ミュート（シャッター）コマンドを送信します。
映像ミュート（シャッター）ON時、「映像ミュート」ランプ点灯します。
ディスプレイには映像ミュートしません。

④スクリーンスイッチ

各スイッチを押下で各スイッチ点灯、リアパネル「SCREEN」端子の「昇」「停」「降」の接点出力が0．5秒ONになります。

⑤映像選択スイッチ

設定したスイッチャーの該当する入力を選択します。

⑥映像選択OFFスイッチ

設定したスイッチャーの出力をOFFします。

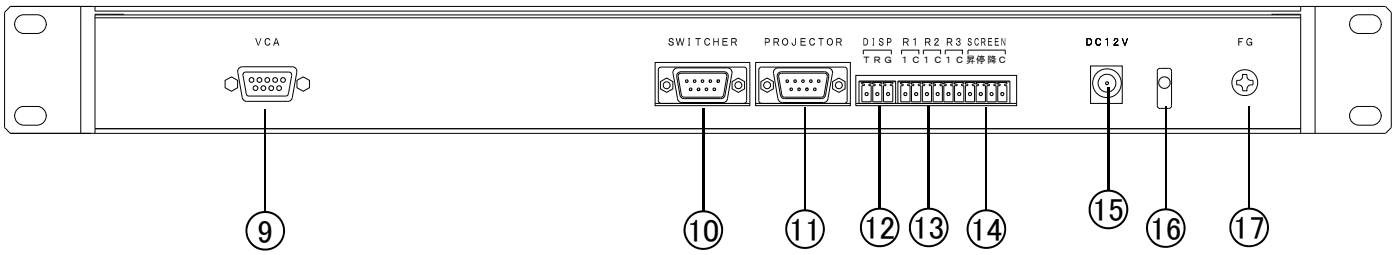
⑦AV音量ボリューム

AV音量を制御します。リアパネルの「VCA」端子から音響機器を制御します。

⑧マイク音量ボリューム

マイク音量を制御します。リアパネルの「VCA」端子から音響機器を制御します。

リアパネル説明



⑨VCA端子(VCA)

フロントパネル「AV音量」・「マイク音量」ボリュームのパラレル制御出力端子です。

弊社TVAシリーズとD-sub9Pinオスメスストレートで接続します。

※詳細はP8「VCA端子」をご参照ください。

⑩スイッチャー制御端子／メンテナンス端子 (SWITCHER)

設定したスイッチャーのシリアル制御端子です。

ファームアップはこの端子とパソコンを接続して更新します。

⑪プロジェクタ制御端子(PROJECTOR)

設定したプロジェクタのシリアル制御端子です。

⑫ディスプレイ制御端子(DISP)

設定したディスプレイのシリアル制御端子です。

⑬電源制御用接点出力(R1・R2・R3)

R1:主電源スイッチ連動接点出力です。R1の「1」と「C」が短絡します。

R2:映像電源スイッチ連動接点出力です。R2の「1」と「C」が短絡します。

R3:映像電源スイッチ連動接点出力です。R3の「1」と「C」が短絡します。

⑭スクリーン用接点出力(SCREEN)

フロントパネル「スクリーン」スイッチのスクリーン上昇・停止・降下接点出力です。

フロントパネル「スクリーン」スイッチを押下で「昇」「停」「降」と「C」が0．5秒短絡します。

⑮ACアダプターソケット(DC12V)

本機の電源です。付属のACアダプターをご使用ください。

⑯ACアダプター抜け防止コードクランプ

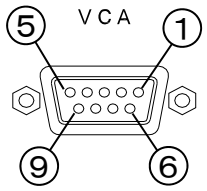
ACアダプタープラグ抜け防止用のコードクランプです。

⑰アース端子(FG)

屋内のアース端子と接続するために使用します。

リアパネル端子説明(1)

・VCA端子



D-sub9Pin メス

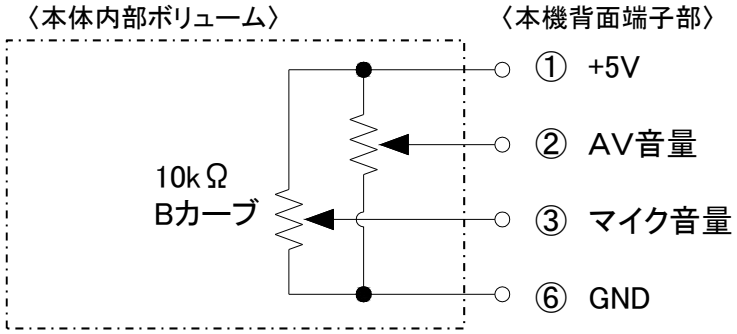
内容	ピンNo.		内容
+5V	①	⑥	GND
AV音量	②	⑦	N.C.
マイク音量	③	⑧	N.C.
N.C.	④	⑨	N.C.
N.C.	⑤		

本機コネクタピン配列

本機リアパネルにあります「VCA」端子のピン配列と内容は上記になります。

内容の「N.C.」には何も接続しないでください。

・VCA内部構造

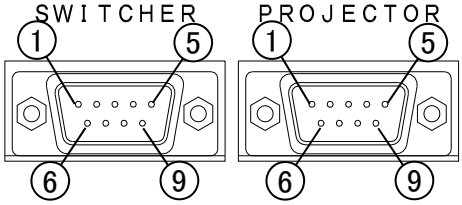


上図の様にボリューム10kΩBカーブを使用しています。

弊社TVAシリーズはD-sub9Pinオスメスストレートケーブルで接続します。

他社製VCAをご使用の場合、上記とご使用のVCA製品の端子に合った変換をしてください。

・スイッチャー・プロジェクタ端子接続



D-sub9Pin オス

内容	信号名	ピンNo.		信号名	内容
ｷｬﾘｱ検出	DCD	①	⑥	DSR	ﾃﾞｰﾀｾｯﾄﾚﾃﾞｨ
受信	RXD	②	⑦	RTS	送信ﾘｸｴｽﾄ
送信	TXD	③	⑧	CTS	送信可
ﾃﾞｰﾀ端末ﾚﾃﾞｨ	DTR	④	⑨	RI	被呼表示
グランド	GND	⑤			

本機コネクタピン配列

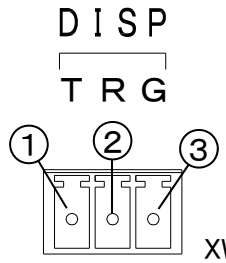
通信レベルはRS232C準拠

同期方式は調歩同期

ボーレート等は設定したスイッチャー・プロジェクタの機種の設定になります。

リアパネル端子説明(2)

・ディスプレイ端子



XW4A-03B1-H1プラグ

内容	信号名	ピンNo.
送信	TXD	①
受信	RXD	②
グランド	GND	③

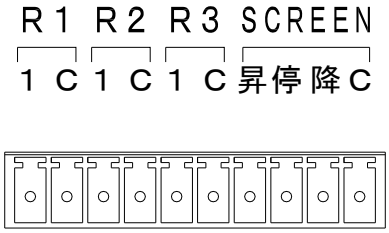
本機コネクタピン配列

通信レベルはRS232C準拠

同期方式は調歩同期

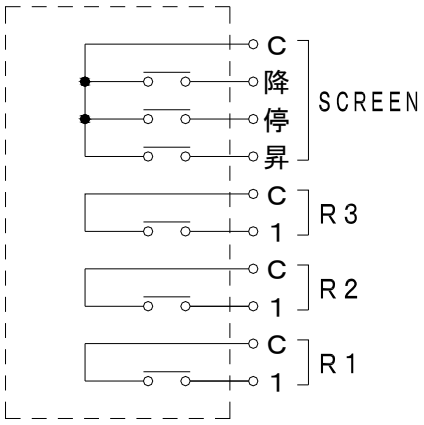
ボーレート等はスイッチャー・プロジェクタの設定機種になります。

・接点出力端子



XW4A-10B1-H1プラグ

〈本体内部接点〉　〈本機背面端子部〉



R1:主電源スイッチ連動接点出力

R2:映像電源スイッチ連動接点出力

R3:映像電源スイッチ連動接点出力

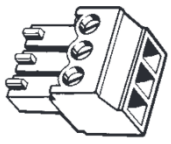
昇:スクリーン上昇接点出力

停:スクリーン停止接点出力

降:スクリーン降下接点出力

※接点の最大定格はDC24V 1Aです。 定格以上は絶対使用しないでください。

・XW4Bプラグの接続



XW4B-03B1-H1プラグの場合

プラグコネクタ側に信号線を入れて使用します。
適用線AWG28～16単線、撚線　剥きしろ7mm
ネジ部分をマイナスドライバで時計回りに回せば、
固定可能です。
プラグに結線後、本体に接続してください。

設置について

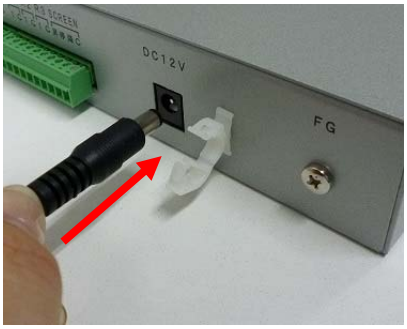
・ACアダプター

付属ACアダプター：定格12V1．0A

本機付属のACアダプターをご使用ください。

抜け防止の為に、下記方法で固定してください。

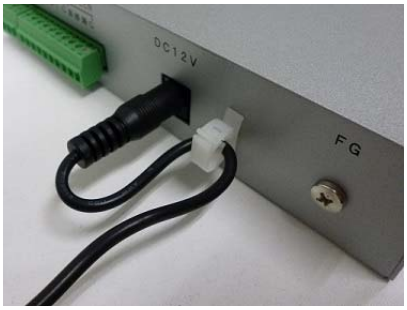
・ACアダプター抜け防止方法 （例：TCP−1000の場合）



1．本体背面のACアダプターのジャックにAC
アダプターのプラグを挿入する。

2．ACアダプターのケーブルを左図のように
弛ませて、コードクランプの中に入れる。

3．ACアダプターのケーブルを弛ませたまま、
コードクランプの下部をカチッと音するまで
指で押し上げてください。



4．この状態でACアダプターにAC100V給電し
て下さい。

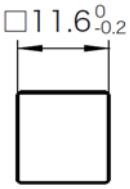
（※注意）このACアダプター抜け防止は
ケーブルの引張りでの抜け防止対策です。
引っ張りすぎるとACアダプターやケーブルが
破損し故障の原因になります。

5．コードクランプからケーブルを外す場合、
左図のように赤丸部分にマイナスドライバー
等を間に入れ押し上げて、空けてください。

銘板の変更について（1）

・スイッチの銘板変更

銘板フィルムは厚さ0.1mm以下の耐熱用フィルムを
使用してください。
カット寸法は右図を参考にしてください。

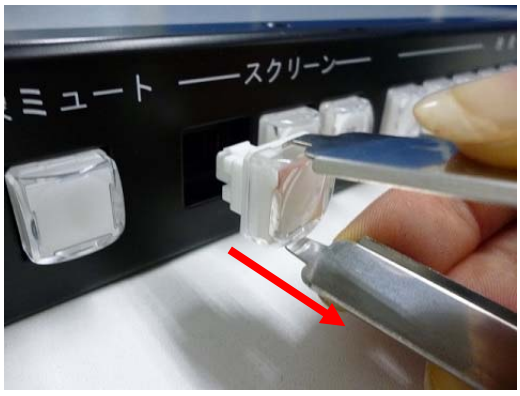


・銘板変更方法　（例：TCP-1000の場合）

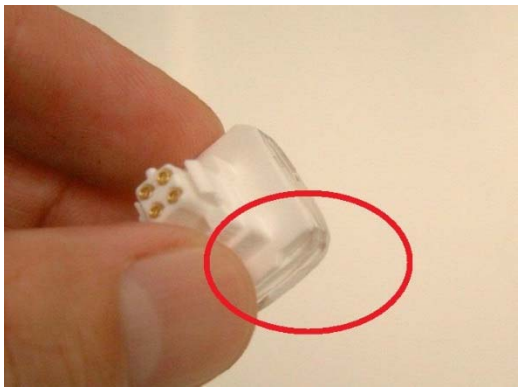
1．例えば左図の丸の箇所の銘板を付ける場合

2．SJ-0001金具（オプション品）等を使用して、
スイッチを本体から抜き取ります。
また、爪で引き抜くことが出来ますが、爪が割
れないように注意してください。

（※注意）抜く際に本体パネル・スイッチ等を傷
つけない様に、しっかり奥を挟み抜いて下さい。



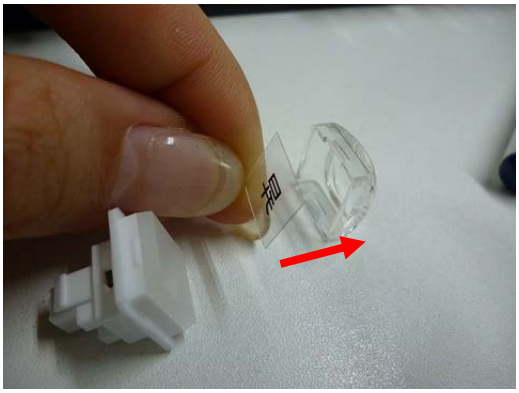
3．抜いた際に方向がありますので、方向を確認
してください。



4．スイッチの透明カバーとスイッチ操作部の2箇
所にカバー取り外し様のスリットがあります。
小さいマイナスドライバー等で透明カバーを
スイッチ操作部から外してください。

銘板の変更について（2）

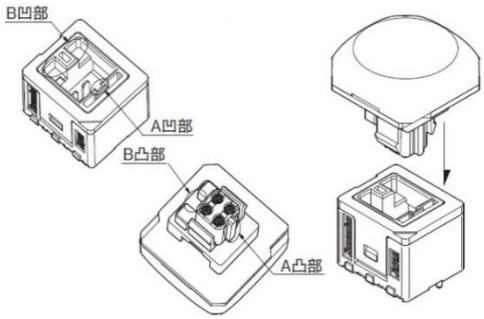
・銘板変更方法



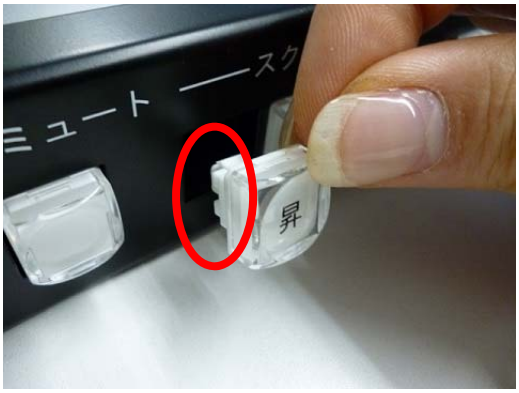
5. 銘板フィルムを方向・上下間違えないように透明カバーにセットして、スイッチ操作部に嵌めます。

（※注意）嵌める際に銘板フィルムが傾かないように嵌めてください。

6. 透明カバーとスイッチ操作部に上部に横長の凹凸同士を嵌めます。



7. 本体パネルのスイッチ本体とスイッチ操作部（左図）のA凹凸・B凹凸を合わせて嵌めます。



8. 赤丸部分がB凸部分でパネル本体のスイッチ本体B凹を合わせて嵌めます。

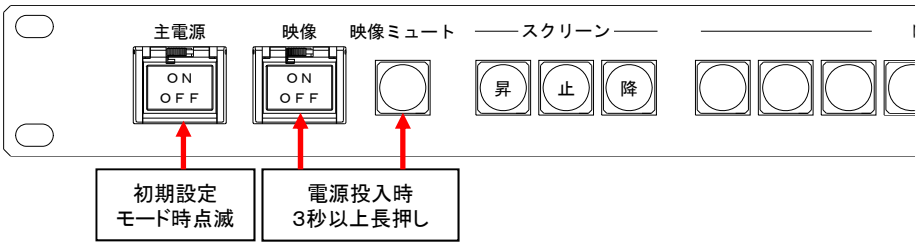
9.「カチッ」と音が鳴るまで奥に入れます。

（※注意）挿入不十分だと、操作・点灯が正しく出来なくなります。

初期設定方法(1)

・初期設定方法

■初期設定モード
「映像ON／OFF」スイッチ＋「映像ミュート」スイッチ を同時に押しながら本体電源(DC12V)投入し、両スイッチを3秒以上押下してください。
「主電源」ランプ点滅で初期設定モードに入ります。



■初期設定モード終了
「主電源」ランプ点滅中に、「主電源」スイッチ3秒間長押しで、「主電源」ランプが消灯し、初期設定モード終了し通常モードになります。

■各種設定可能項目

スイッチャー設定	：	「スクリーン昇」ランプ点滅
プロジェクタ設定	：	「スクリーン停」ランプ点滅
ディスプレイ設定	：	「スクリーン降」ランプ点滅
映像電源スクリーン連動設定	：	「スクリーン停」・「スクリーン降」ランプ点滅
主電源スクリーン連動設定	：	「スクリーン昇」・「スクリーン降」ランプ点滅

■表示
スイッチの点滅は選択可能を表示、点灯は設定中を表示しています。
点灯が無い場合は機種・連動等の設定無しになります。

■操作/設定

「映像ON/OFF」スイッチ	：	「決定」スイッチ
「映像ミュート」スイッチ	：	「選択切替」スイッチ
「映像選択①～⑧」スイッチ	：	「選択」スイッチ
「映像選択OFF」スイッチ	：	「キャンセル(戻る)」スイッチ

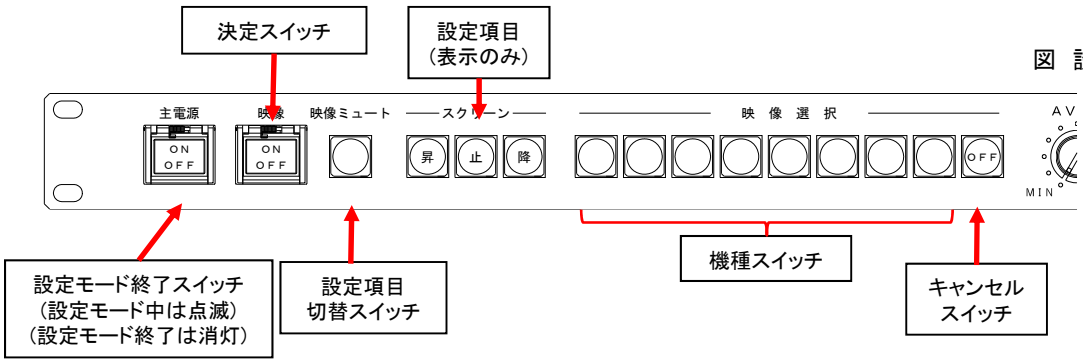


図　設定モードスイッチ操作

初期設定方法（2）

・スイッチャー設定方法

①スイッチャー設定
「スクリーン昇」ランプ点滅時に「映像ON／OFF」スイッチ押下でスイッチャー設定

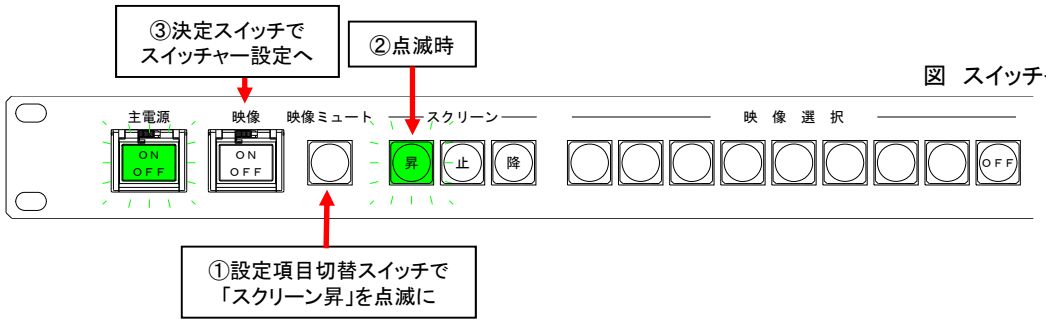


図　スイッチャー設定スイッチ操作

②スイッチャー機種設定
「スクリーン昇」ランプ点灯時はスイッチャー機種設定です。
本機で登録されている、機種番号の「映像選択」ランプが点滅します。

点滅している「映像選択」スイッチを押下し、該当する機種の番号を点滅から点灯に変え、「映像ON／OFF」スイッチ押下で機種を確定します。

機種を変更したい場合、「映像選択OFF」のキャンセルを押すか、別に点滅しているスイッチを押して「映像ON／OFF」スイッチ押下で機種を確定してください。

点灯している「映像選択」スイッチが無い場合に「映像ON／OFF」又は「映像選択OFF」のキャンセルスイッチ押下するとスイッチャーの設定をせずに、スイッチャー機種設定を終わります。

③スイッチャー機種設定
②の「映像ON／OFF」スイッチ押下することで、スイッチャー設定が完了し、
「スクリーン昇」ランプ点滅になります。
他の設定項目に移る場合、「映像ミュート」スイッチで選択切替してください。

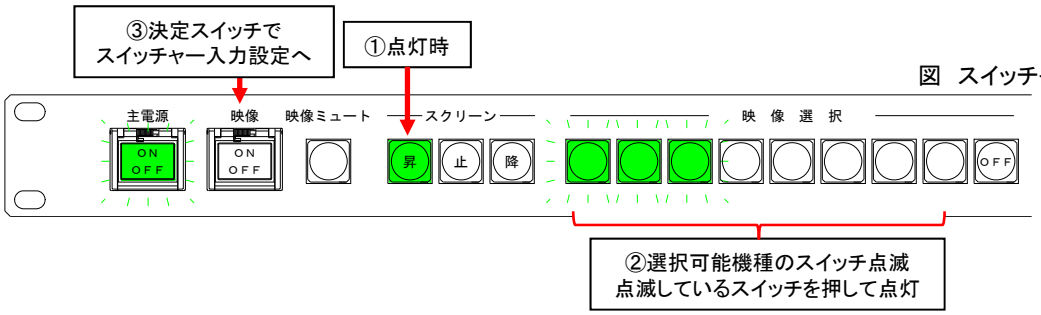


図　スイッチャー機種スイッチ操作

映像選択番号	メーカ・機種名	映像選択番号	メーカ・機種名
①	IMAGENICS製（SLシリーズ）	⑤	－
②	IDK製（MSDシリーズ）	⑥	－
③	KOWA製（KSMシリーズ）	⑦	－
④	－	⑧	－

初期設定方法(3)

・プロジェクタ設定方法

①プロジェクタ設定
「スクリーン停」ランプ点滅時に「映像ON／OFF」スイッチ押下でプロジェクタ設定

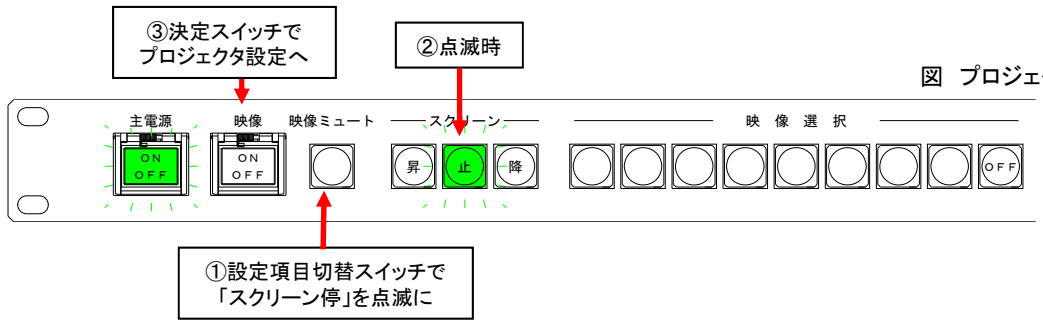


図　プロジェクタ設定スイッチ操作

②プロジェクタ機種設定
「スクリーン停」ランプ点灯時はプロジェクタ機種設定です。
本機で登録されている、機種番号の「映像選択」ランプが点滅します。

点滅している「映像選択」スイッチを押下し、該当する機種の番号を点滅から点灯に変え、「映像ON／OFF」スイッチ押下で機種を確定します。

機種を変更、又は変えたい場合、「映像選択OFF」のキャンセルを押すか、別に点滅しているスイッチを押して「映像ON／OFF」スイッチ押下で機種を確定してください。

点灯している「映像選択」スイッチが無い場合に「映像ON／OFF」又は「映像選択OFF」のキャンセルスイッチ押下するとプロジェクタの設定をせずに、プロジェクタ機種設定を終わります。

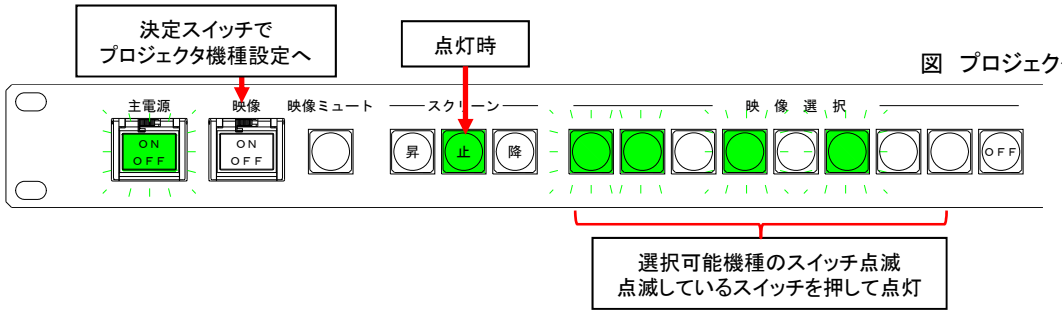


図　プロジェクタ機種スイッチ操作

映像選択番号	メーカ・機種名	映像選択番号	メーカ・機種名
なし	なし （R2接点出力なし）	④	NEC製 （NP-PA600/PA500シリーズ）
①	Panasonic製 （DLPシリーズ）	⑤	SONY製 （VPL-FX、FHシリーズ）
②	Panasonic製 （液晶シリーズ）	⑥	-
③	EPSON製	⑦	-

初期設定方法(4)

・ディスプレイ設定方法

①ディスプレイ設定
「スクリーン降」ランプ点滅時に「映像ON／OFF」スイッチ押下でディスプレイ設定

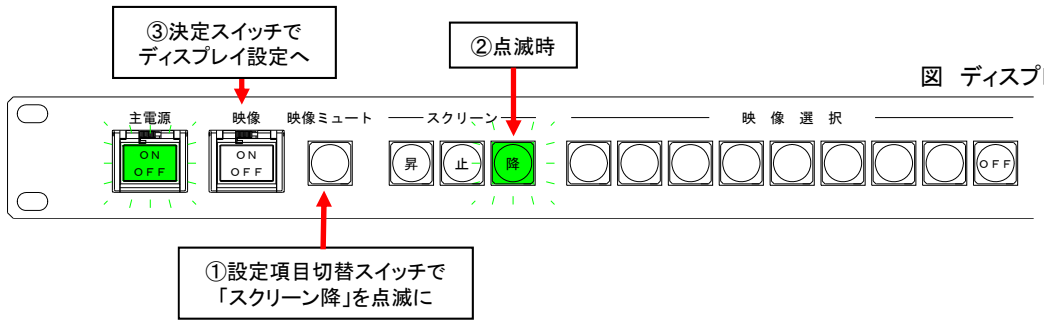


図　ディスプレイ設定スイッチ操作

②ディスプレイ機種設定
「スクリーン降」ランプ点灯時はディスプレイ機種設定です。
本機で登録されている、機種番号の「映像選択」ランプが点滅します。

点滅している「映像選択」スイッチを押下し、該当する機種の番号を点滅から点灯に変え、「映像ON／OFF」スイッチ押下で機種を確定します。

機種を変更、又は変えたい場合、「映像選択OFF」のキャンセルを押すか、別に点滅しているスイッチを押して「映像ON／OFF」スイッチ押下で機種を確定してください。

点灯している「映像選択」スイッチが無い場合に「映像ON／OFF」又は「映像選択OFF」のキャンセルスイッチ押下するとディスプレイの設定をせずに、ディスプレイ機種設定を終わります。

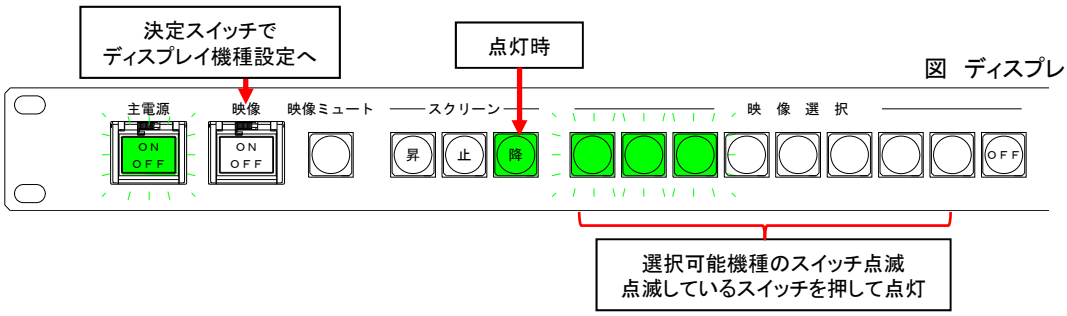


図　ディスプレイ機種スイッチ操作

映像選択番号	メーカ・機種名	映像選択番号	メーカ・機種名
なし	なし （R3接点出力なし）	④	-
①	Panasonic製 （ビデオウォールタイプ以外）	⑤	-
②	SHARP製 （設定9600bps）	⑥	-
③	NEC製	⑦	-

初期設定方法(5)

・映像電源スクリーン連動設定方法

①映像電源スクリーン連動設定
「スクリーン停」「スクリーン降」ランプ点滅時に「映像ON／OFF」スイッチ押下で
スクリーンの映像電源連動設定

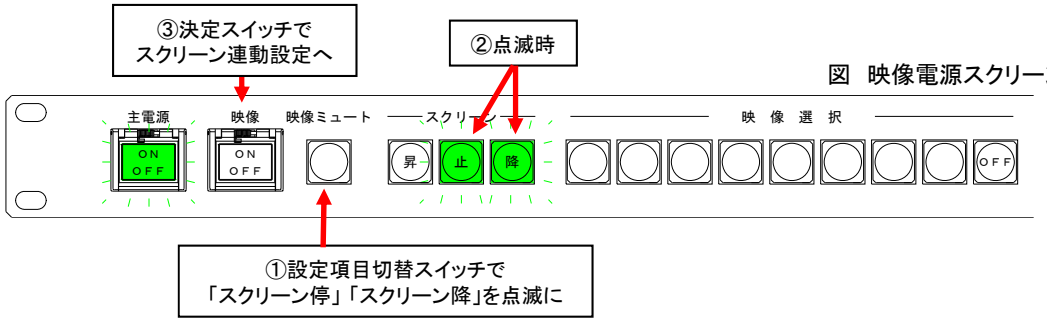


図　映像電源スクリーン設定スイッチ操作

②映像電源スクリーン連動機能設定
「スクリーン停」「スクリーン降」ランプ点灯時は映像電源スクリーン連動機能設定です。
本機で登録されている、連動内容の「映像選択」ランプが点滅します。

機能設定の詳細は、下の表をご確認ください。

点滅している「映像選択」スイッチを押下し、該当する機能の番号を点滅から点灯に
変え、「映像ON／OFF」スイッチ押下で機能を確定します。

機能を変更する場合、「映像選択OFF」のキャンセルを押すか、別に点滅している
スイッチを押して「映像ON／OFF」スイッチ押下で機能を確定してください。

「映像選択」スイッチが点灯して無い場合に「映像ON／OFF」又は「映像選択OFF」の
キャンセルスイッチを押下すと設定をせずに、映像電源スクリーン連動設定を終わります。
その際、連動設定は「連動無し」になります。

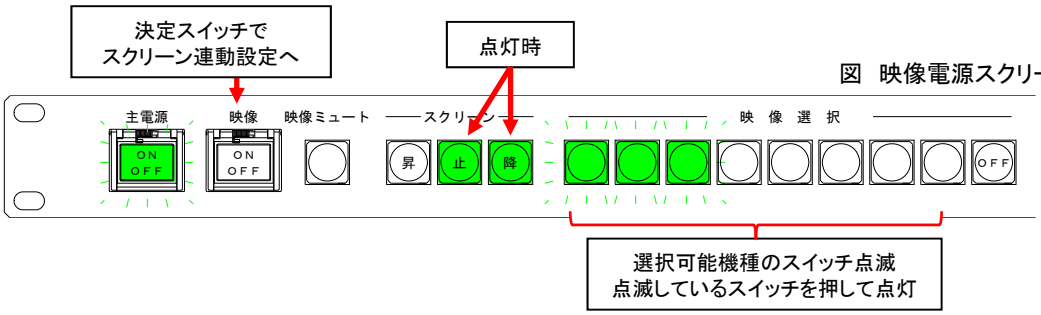


図　映像電源スクリーン連動設定操作

映像選択番号	スクリーン連動機能 「映像ON／OFF」ON時	スクリーン連動機能 「映像ON／OFF」OFF時
なし	連動無し	連動無し
①	連動無し	「スクリーン昇」動作
②	「スクリーン降」動作	連動無し
③	「スクリーン降」動作	「スクリーン昇」動作

初期設定方法（6）

・主電源スクリーン連動設定方法

①主電源スクリーン連動設定
「スクリーン昇」「スクリーン降」ランプ点滅時に「映像ON／OFF」スイッチ押下で
スクリーンの主電源連動設定

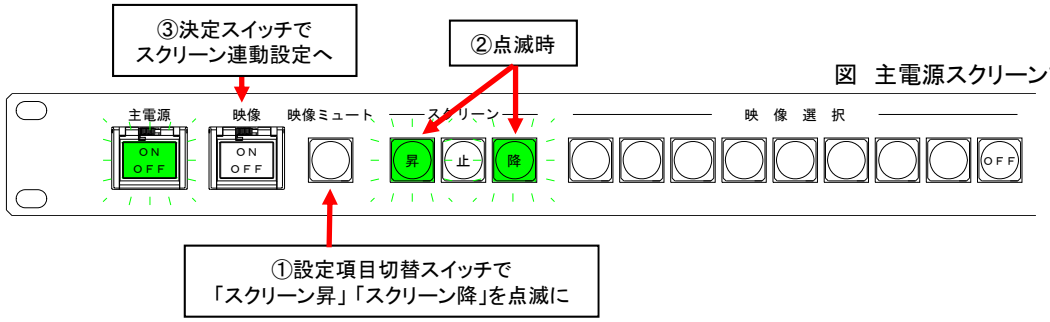


図　主電源スクリーン設定スイッチ操作

②主電源スクリーン連動機能設定
「スクリーン昇」「スクリーン降」ランプ点灯時は主電源スクリーン連動機能設定です。
本機で登録されている、連動内容の「映像選択」ランプが点滅します。

機能設定の詳細は、下の表をご確認ください。

点滅している「映像選択」スイッチを押下し、該当する機能の番号を点滅から点灯に
変え、「映像ON／OFF」スイッチ押下で機能を確定します。

機能を変更する場合、「映像選択OFF」のキャンセルを押すか、別に点滅している
スイッチを押して「映像ON／OFF」スイッチ押下で機能を確定してください。

「映像選択」スイッチが点灯して無い場合に「映像ON／OFF」又は「映像選択OFF」の
キャンセルスイッチを押下すと設定をせずに、主電源スクリーン連動設定を終わります。
その際、連動設定は「連動無し」になります。

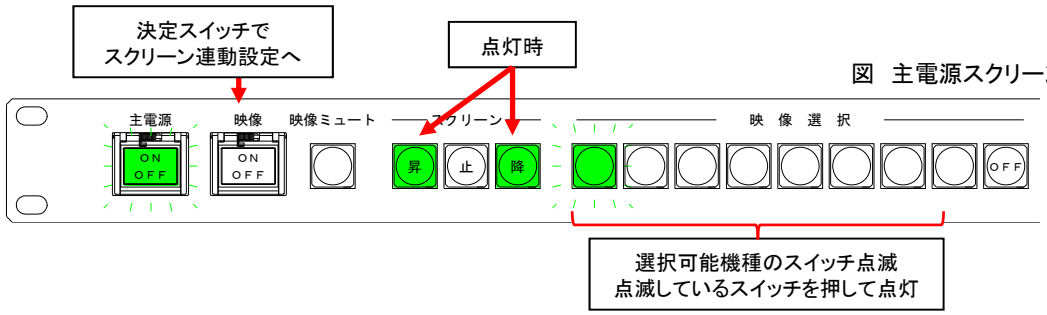


図　主電源スクリーン連動設定操作

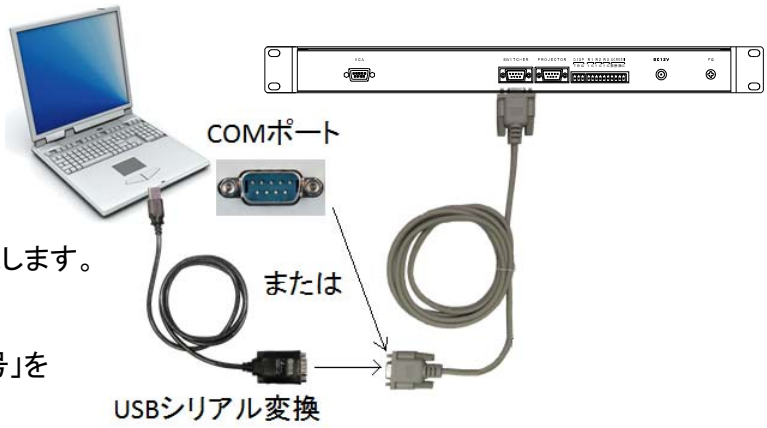
映像選択番号	スクリーン連動機能 「主電源」OFF時
なし	連動無し
①	「スクリーン昇」動作

ファームウェアの更新(1)

・パソコン接続準備

ファームウェアの更新は本機の「SWITCHER」の端子(RS232C通信ポート)を使用します。
パソコンのRS232Cポートの準備をしてください。パソコンにRS232Cポートが無い場合、
USBシリアルコンバータ等を使用してください。

・接続とファーム確認



1. 右図のようにパソコンと
   RS232Cクロスケーブルで本機の
   メンテナンス端子「SWITCHER」に接続します。

2. パソコンのRS232Cの「COMポート番号」を
   確認します。
   また、ご使用の本機の初期設定をメモをしてください。

3. ファームアップソフトを起動します。
   弊社支給ソフト「M16CDownloderCom.exe」を起動すると下記のウィンドウが開きます

4. 右上「COMポート選択」の「ボーレイト」を「9600bps」にし、「COMポート」の番号を
   「2. 」で確認した番号を選択します。

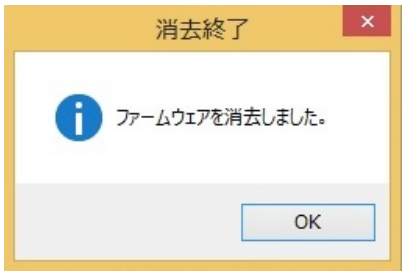
   「バージョン取得」ボタンを押すと、本機のファームバージョンが確認できます。

   支給されたファームウェアを「ファーム選択」の「. . . 」で選択します。
   支給されたファームバージョンと書き込みされているファームを確認し、ファーム
   バージョンが新しいことを確認します。

ファームウェアの更新(2)

・ファーム書込み

1. 本機に古いファームがあると書き込みが出来ません。(上書き不可)
   「ファーム消去」ボタンをクリックし「ファームウェアを消去しました。」のポップアップ画面で表示で消去完了です。



2. 「COMポート選択」の「ボーレイト」を「38400bps」にして「実行」ボタンを押すと書き込みを行います。
   「ファームウェアの書込が終了しました。」のポップアップ画面で書込み完了です。

3. 「COMポート選択」の「ボーレイト」を「9600bps」に戻し、「バージョン取得」ボタンを押して、本機のファームバージョンと書き込みしたファームバージョンが同じであることを確認してください。
   以上で、書込み完了です。
   設定が同じであるか、P13「初期設定方法」で設定の確認を行ってください。
   異なる場合は、再設定を行ってください。

設定一覧

・スイッチャー設定機種

初期設定モード「スクリーン昇」ランプ点灯時：スイッチャー機種設定

映像選択番号	メーカ・機種名	映像選択番号	メーカ・機種名
なし	なし	④	－
①	IMAGENICS製（SLシリーズ）	⑤	－
②	IDK製（MSDシリーズ）	⑥	－
③	KOWA製（KSMシリーズ）	⑦	－

・プロジェクタ設定機種

初期設定モード「スクリーン停」ランプ点灯時：プロジェクタ機種設定

映像選択番号	メーカ・機種名	映像選択番号	メーカ・機種名
なし	なし(R2接点出力なし)	④	NEC製 （NP-PA600/PA500シリーズ）
①	Panasonic製（DLPシリーズ）	⑤	SONY製（VPL-FX、FHシリーズ）
②	Panasonic製（液晶シリーズ）	⑥	－
③	EPSON製	⑦	－

・ディスプレイ設定機種

初期設定モード「スクリーン降」ランプ点灯時：ディスプレイ機種設定

映像選択番号	メーカ・機種名	映像選択番号	メーカ・機種名
なし	なし(R3接点出力なし)	④	－
①	Panasonic製 （ビデオウォールタイプ以外）	⑤	－
②	SHARP製（設定9600bps）	⑥	－
③	NEC製	⑦	－

・映像電源スクリーン連動機能設定

初期設定モード「スクリーン停」・「スクリーン降」ランプ点灯時：映像電源スクリーン連動機能設定

映像選択番号	スクリーン連動機能 「映像ON／OFF」ON時	スクリーン連動機能 「映像ON／OFF」OFF時
なし	連動無し	連動無し
①	連動無し	「スクリーン昇」動作
②	「スクリーン降」動作	連動なし
③	「スクリーン降」動作	「スクリーン昇」動作

・主電源スクリーン連動機能設定

初期設定モード「スクリーン昇」・「スクリーン降」ランプ点灯時：主電源スクリーン連動機能設定

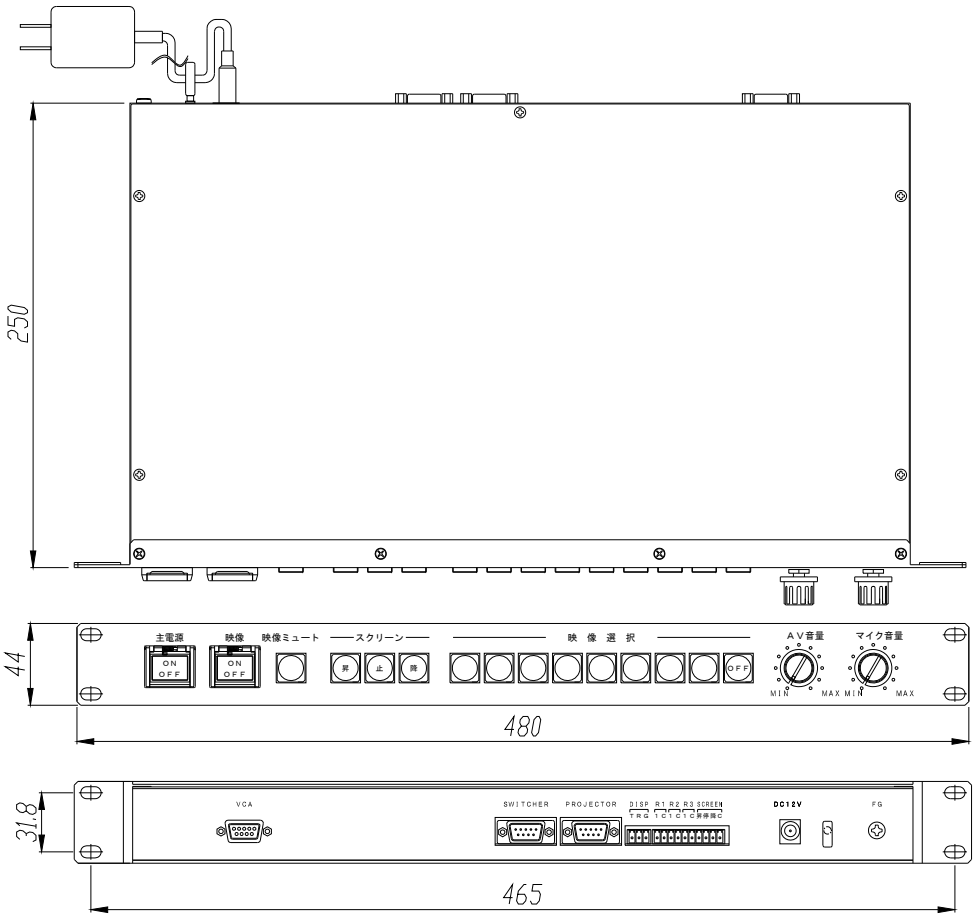
映像選択番号	スクリーン連動機能「主電源」OFF時
なし	連動無し
①	「スクリーン昇」動作

トラブルシューティング

現象	確認 / 処置
「主電源」スイッチを押してもシステムが起動しない。	・ACアダプターにAC100V供給されていること、ACアダプターのプラグが本機に正しく接続されていることをご確認してください。
「主電源」スイッチを押して、システムが起動するが、「映像選択OFF」が点滅を繰り返し、点灯しない。	・選択されましたスイッチャーの機種と接続されている機種が一致しません　又は、接続されていません。 もう一度、ご使用の該当するスイッチャー機種を確認してください。 又は、配線を確認してください。
「主電源」スイッチを押して、システムが起動するが、「映像選択①」が点滅を繰り返す。	・選択されましたスイッチャーの接続初期設定が完了できませんでした。 もう一度、ご使用の該当するスイッチャー機種を確認してください。 ・ACアダプターの通電をOFFし配線を確認し、確認後、再度ACアダプターの通電してください。
「主電源」スイッチを押してもシステムが起動するが、「映像選択OFF」が点灯しない。	・スイッチャーの初期設定が出来ていません。 又は、スイッチャーの初期設定が「なし」に設定されています。 ・スイッチャーを操作する場合は、初期設定モードでスイッチャーの設定を行ってください。
「映像ON／OFF」ONしてしばらくすると映像ON／OFFランプが早い点滅をする。	・プロジェクタ又はディスプレイの初期設定が出来ていません。 又は、プロジェクタ又はディスプレイの初期設定が「なし」に設定されています。 ・プロジェクタ又はディスプレイを操作する場合は、初期設定モードでプロジェクタ又はディスプレイを設定してください。 ・初期設定が完了している場合同じ現象が発生するとき、通信が出来ていません。もう一度配線を確認してください。
「映像ミュート」ONしてもプロジェクタが「映像ミュート」しない。	・「映像ON／OFF」点滅中は映像ミュートはしません。しばらくお待ちください。 ・「映像ON／OFF」消灯時は映像ミュートはできません。
「映像ON／OFF」ONしてもディスプレイの映像がつかない。	・ディスプレイの初期設定が出来ていません。又は、ディスプレイの初期設定が「なし」に設定されています。 ・ディスプレイの一部製品は使用できない通信があります。 ディスプレイの取扱説明書をご確認ください。 一部機種については通信速度の変更で使用できる場合があります。 ・映像伝送器をご使用の場合、クロス結線等の配線をご確認ください。
「AV音量」又は「マイク音量」のボリュームを変化しても、音量が変化しない、または、音が出ない。	リアパネル「VCA」の配線をご確認ください。 他社製VCA製品をご使用の場合、変換の配線をご確認ください。
銘板変更をした後に、スイッチが点灯しない。	正しくスイッチが挿入されていない場合があります。 もう一度、スイッチの挿入等の確認を行ってください。

外観・仕様・付属品他

・外観図



・仕様

項　目	仕　様
電源	電源制御用接点ON/OFF
スクリーン	接点　ワンショットタイプ
映像	プロジェクター(Panasonic, EPSON, NEC, SONY)
	ディスプレイ(Panasonic, SHARP, NEC)
スイッチャー	SLシリーズ(IMAGENICS), MSDシリーズ(IDK),KSMシリーズ(KOWA)
音量	TVAシリーズ準拠(田中電工)　※VR(他社製品接続の場合は9pinにて変換)
スイッチ	照光式　緑，アンバー
ボリューム	10kΩ　Bカーブ
音量制御端子	D-Sub9P メス(弊社標準配線)
電源コードの長さ	1.5m(付属ACアダプタ)
電源	DC12V ACアダプタ (AC100V 50/60Hz)
消費電力	約 2W以下
質量	約 3.0kg
外形寸法	483(幅)×44(高さ)×250(奥行き)mm(突起部は含まず)
仕上げ	黒半ツヤ(パネル)、シルバーメタリック半ツヤ(ケース・フタ)
使用環境	屋内 使用周囲温度：0～40℃ 使用周囲湿度：20%～80%(非結露)

・付属品

制御端子コネクタ1　：プラグコネクタ3P　XW4B-03B1-H1 (OMRON　・・・・・・・1ヶ
制御端子コネクタ2　：プラグコネクタ10P　XW4B-10B1-H1 (OMRON)　・・・・・・・1ヶ
ACアダプター　：AC100V50Hz/60Hz　DC12V1.0A 1．5m　・・・・・・・1ヶ
本書　：取扱説明書　・・・・・・・1ヶ

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

◆保証書
・お買い上げになったら、添付の保証書の「お買上日、販売店」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
・保証期間はお買上日より１年間です。

◆部品の保有期間について
・この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造終了後５年間です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

◆修理を依頼されるとき
・修理を依頼されるときは、お買上の販売店、もしくは当社へご連絡ください。
その際、故障の状況をできるだけ詳しくお伝えください。

◆無料修理規定
１．取扱説明書、貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理をいたします。
２．無料修理をご依頼になる場合は、本書をご提示の上、販売店にご依頼ください。
３．保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
(イ)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買上後の、取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷
(ニ)指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
(ホ)他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
(ヘ)本書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入捺印が無い場合
４．本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
５．本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

販売・製造元 ： 田中電工株式会社

門真工場
〒571-0034 大阪府門真市東田町22-8
TEL 06-6904-5501 / FAX 06-6904-4032

本社
〒535-0031 大阪市旭区高殿7-16-31
URL http://www.tei-tanaka.co.jp/

東京営業所
〒105-0013 東京都港区浜松町2-3-24
若松ビル3F
TEL 03-3437-5454 / FAX 03-3437-5460

SGU0021A-QT01_Ver1.00
TCP-1000-QT01_Ver1.00

＜ 保 証 書 ＞

品　　番	TCP －1000	製造番号	
保証期間	お買い上げ日から1年間		
お買い上げ日	年　　月　　日		
お客様	ご住所 お名前 電話番号		
販売店	ご住所 お名前 電話番号		